



文政小 第6号

学校便り
文責
生田 文明

七夕の願いを

叶えるために



「コロナがわかりますように」「みんなとあそびたい」「はやくぶるにはいりたい」「しょうぼうしになりたい」「おおきくなったらけいさつかんになりたい」

これらは、一年生が短冊に書いた願い事です。コロナで不安で不自由な生活から元の生活へ戻りたい。学校で思いっきり遊びたい。先日の豪雨災害で被災された方々を救う仕事をしたい。子どもたちの優しさ、思いが短冊の願い事として、記されていました。この子供たちのために、今自分にできることを精一杯やっていかなければならないと決意を新たにしたいです。

先日の熊本豪雨では、六十五名の方が亡くなられ、2080名の方々が避難所での生活を余儀なくされ、また、家屋の被害8589戸、未だ停電(約280戸)、断水(687戸)(十九日午後七時県発表)の状況です。本校区では豪雨で水川ダムから給水している水が濁り、浄水場の濾過が十分できなくなり、十二日に断水となりました。十三日(月)早朝に復旧はしたものの配管を守るために徐々に加圧したため、本校では、水圧が足らず、休校せざるを得なくなりました。大変ご迷惑をおかけしました。



たった一日の断水で、慌てた私。

熊本豪雨で被災された方々を思うとき、その心労は、計り知れません。

豪雨で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、坂本、人吉、球磨、水俣・芦北、天草など県内各地で被災された方々・地域の一刻も早い復旧復興を願い、また、支援するため、私たち一人一人が、今できることから始めて行きましょう。

学校では、子供たち一人一人の願いが叶うように、コロナ、豪雨被災の逆境の時期だからこそ、地域、家庭、学校が一丸となった取組を推進してまいります。まだまだ、予断を許さない状況の中ではありますが、地域、保護者の皆様のお力をお借りしながら、明日を拓く子供たちのために、ご協力・ご支援を今後ともよろしく願います。

コロナ対策 消毒作業

(延べ八十七名の皆様の「ご協力」)

安心・安全な環境のもとで教育活動ができ、しかも、担任が児童と向き合う時間を確保するために、六月十五日から、学校がある日の午後四時三十分から午後五時までの三十分間、文政っ子応援協議会から派遣された地域ボランティアの方々(毎日二〜六名)に中学年棟の教室以外の消毒作業をお願いしています。

七月二十日までで、延べ八十七人の方々に消毒作業をしていただきました。手作りマスクづくり、そして、今回の毎日の校舎内の消



地域の皆様による消毒作業

職員による消毒作業

毒作業、文政の子供たちのためにと学校を全面的に支援していただいています。ありがとうございます。

水泳実施に向けて

二十八日から八月三十一日まで行う水泳の授業に向け、プール掃除を行いました。今年度は、コロナ対策のために、プール内の掃除は職員で、プールサイドは、五・六年生で行いました。

来週からプールでの授業が始まります。新型コロナウイルスの感染拡大防止の対策を行いながら、また、熱中症対策も同時に行いながら、授業を進めていきます。授業の様子は、学校便り、ホームページでお伝えいたします。



学級懇談会

1. 日時 令和2年7月22日(水) 午後3時45分～
2. 会場 各教室
3. 内容 ・学校での様子
・ご家庭でのお子さんの様子等

ご参加
お待ちしております

